

松葉学園グループ

松葉学園 広報

29年1月号

障害者支援施設 松葉学園グループ

施設長 佐藤 真実

新年にあたり

あけましておめでとうございます。

昨年は、日本中がリオオリンピックにわいた年。年末にも活躍したアスリートの特集をたくさん目にしました。年が明けると、駅伝やラグビー、サッカー等スポーツ報道がさかんで、ついつい見入ってしまいました。特集番組やインタビューに答える選手達を見ていると、みんな目的達成のための目標がはっきりしていて、自分が何をすべきか、何が必要なのかということ把握し日々の努力を重ね、結果として成果をあげているということがわかりました。大舞台で自分の力を発揮できるのは、並大抵のことではありません。だから、それができたときのアスリートは、達成感と自信できらきら輝いているんだなと感じました。これは、仕事でも同じことがいえるのではないかと思います。私達も、利用者の方の思いを大切に、達成すべき目的に向かって進んでいき、利用者の方と共に輝きたいと思います。

意思決定支援の大切さが多く取り上げられています。意思決定支援ができるかどうかは、私達がどれだけ多くの選択肢を持ち合わせることができるかということにつながると考えます。利用者の方の「～したい」と言う気持ちをきき、じゃあ「どうする?」というときに、選択肢がないのでは、意思決定支援とはいえません。たくさんの選択肢の中から、自分がしたい方法を決めてもらう。気に入った選択肢がなければ、新たなものを創る。利用者の方がどうしようと迷ってしまうくらい選ぶことができるたくさんの選択肢をつくるのが私達の仕事の一つです。利用者の方を支えるチームの一員として職員一人ひとりが自分の得意分野をここぞというときに生かしながら、福祉の専門家としての力を身につけ、チーム力を高めていきます。

暖冬とはいえ、風邪やインフルエンザが流行っています。みなさま、お体にお気をつけください。素敵な2017年になりますように。